

1.2.2 工事の推移と現況

1) 工事量の全体推移

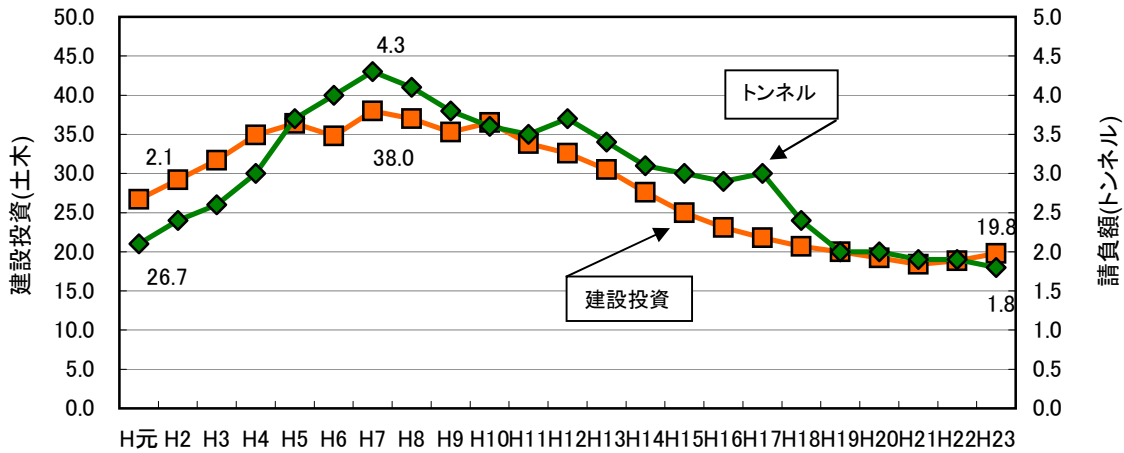


図-1 建設投資と請負額の推移 (単位:兆円)

建設投資 (土木) ; 出典 ; 国交省「平成22年度建設投資見通し」名目値、H21~23は見込み値

以下に示す推移は、前掲の一覧表をグラフ化したものである。

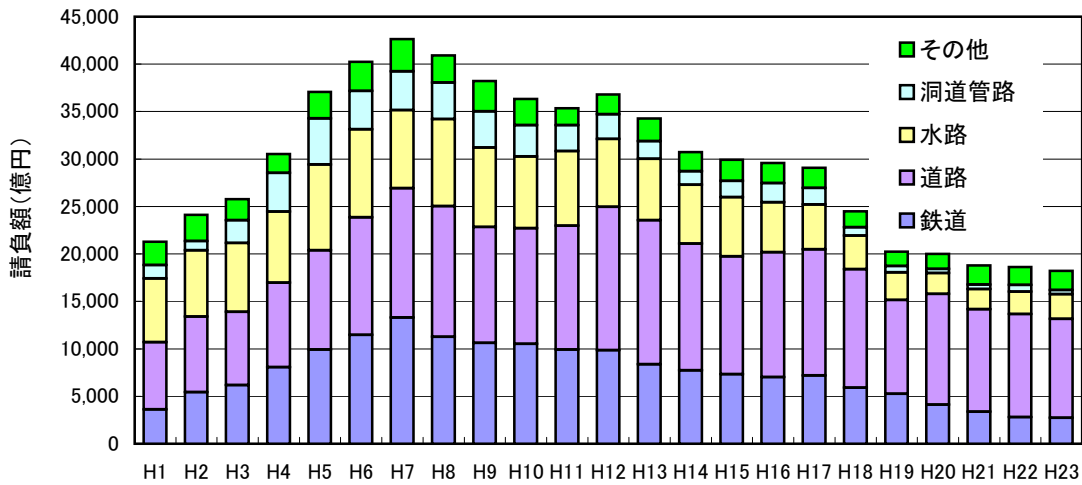


図-2 国内の工事量-請負額-の推移(地下街を除く)

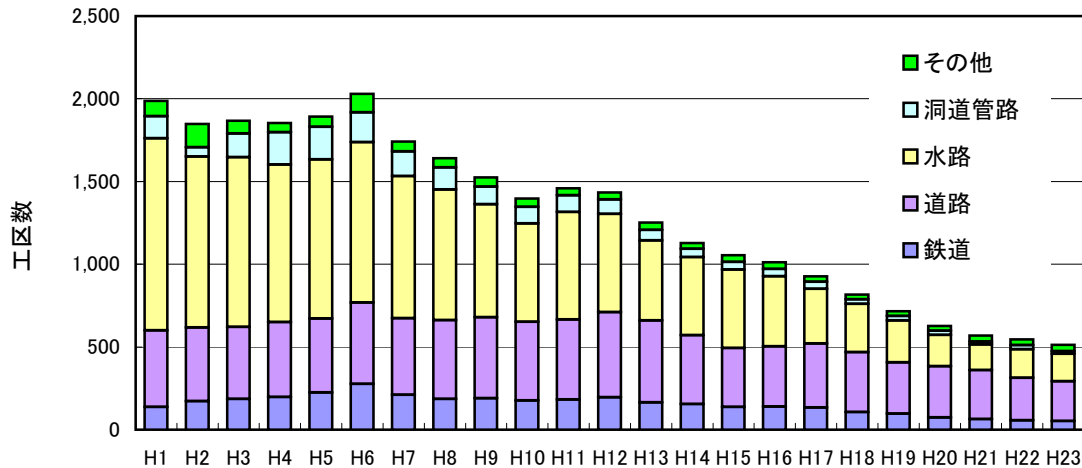


図-3 国内の工事量-工区数-の推移(地下街を除く)

2) 用途別工事量の推移

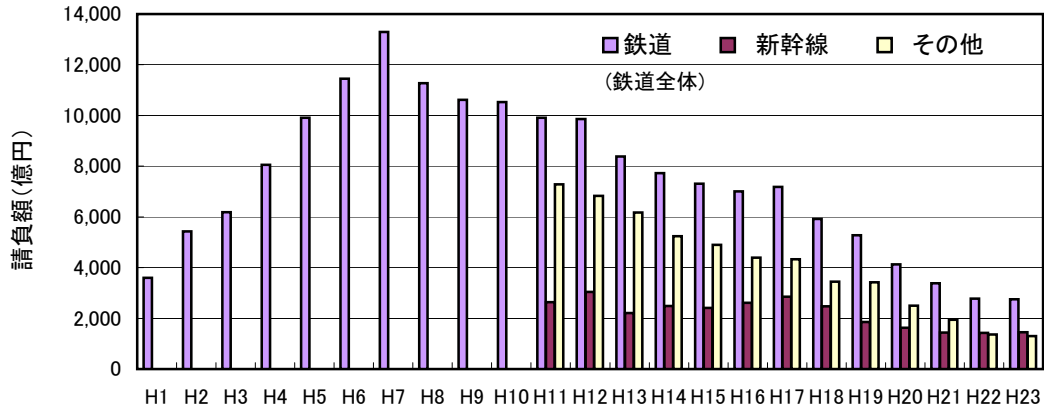


図-4 鉄道トンネルの推移

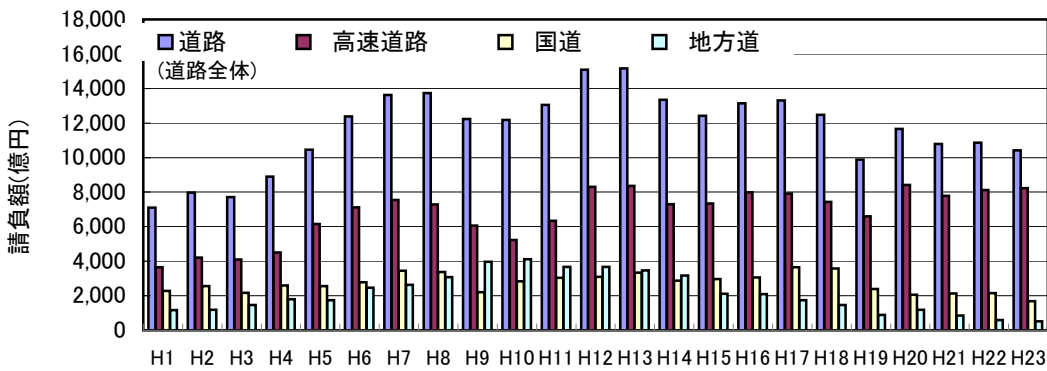


図-5 道路トンネルの推移

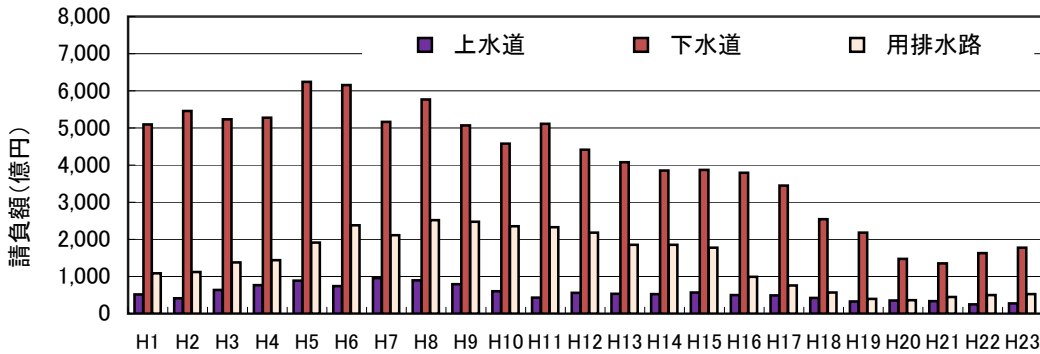


図-6 水路トンネルの推移

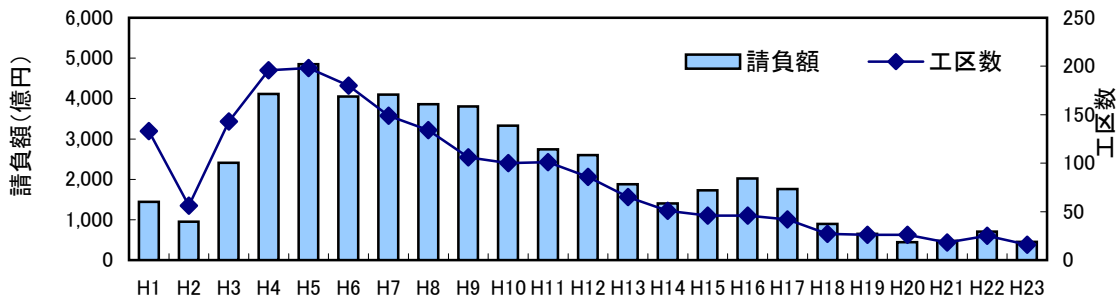


図-7 洞道管路の推移(専用洞道管路、共同溝等)

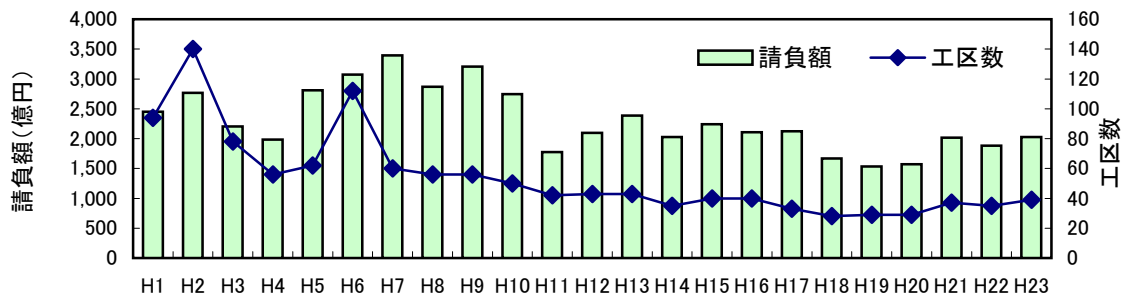


図-8 その他の推移(地下発関連、その他)

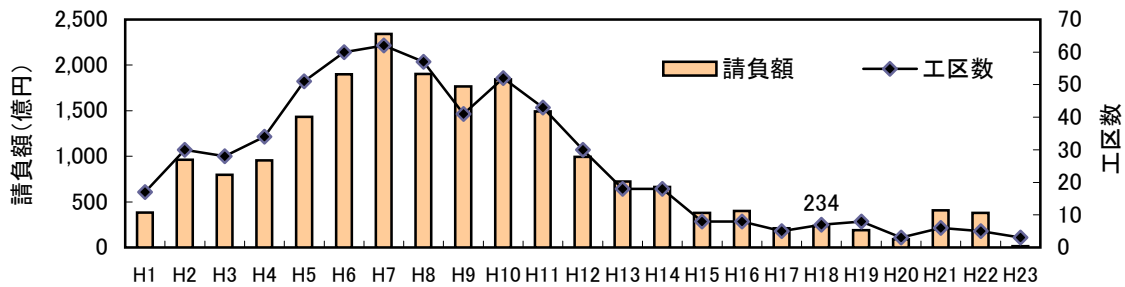


図-9 地下街・地下駐車場等工事の推移

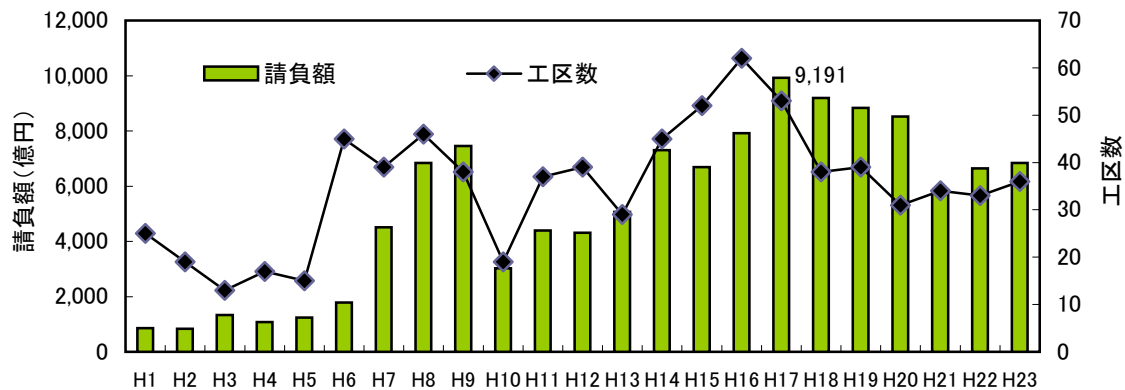


図-11 海外工事の推移

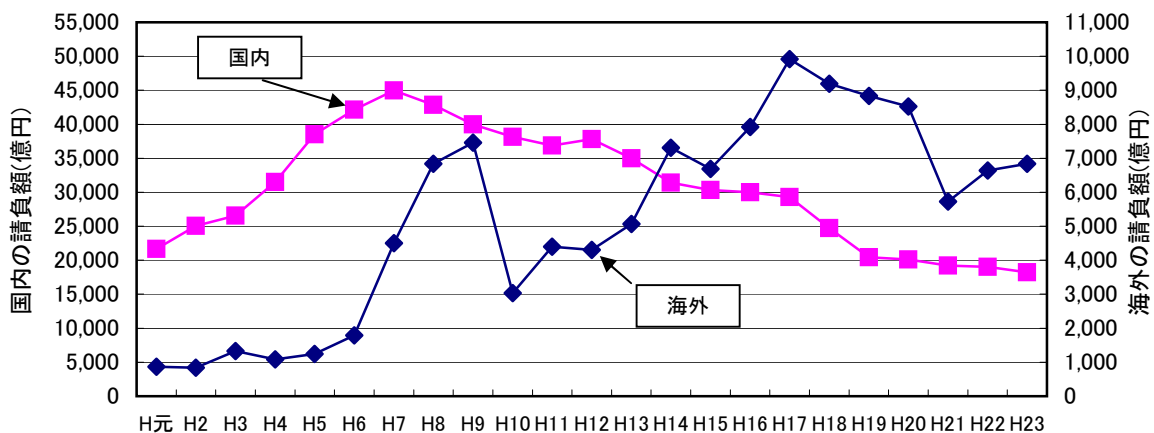


図-11 国内請負額と海外請負額の推移

3) 施工中のトンネル現況(2011.12.1現在)

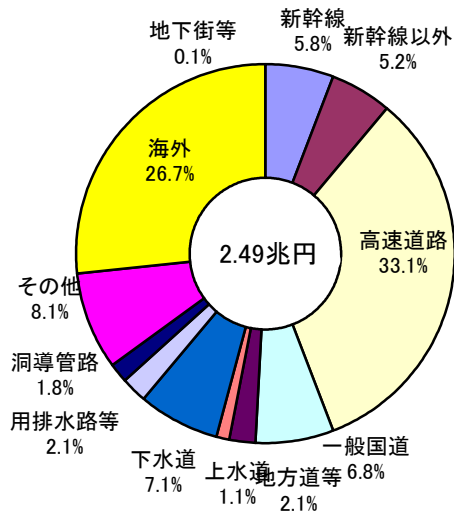


図-12 請負額の比率

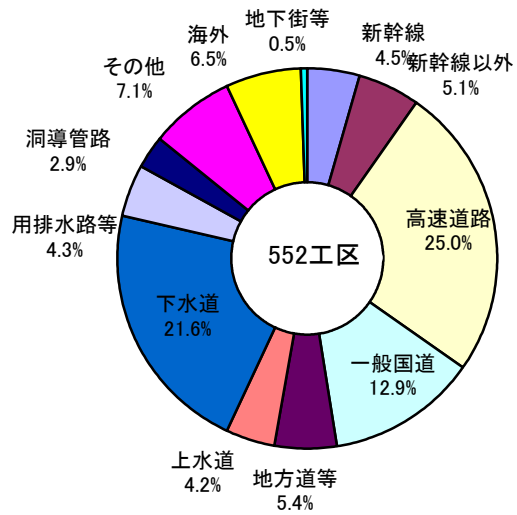


図-13 工区数の比率

以下は国内におけるトンネル工事(地下街等を除く)の現況である。

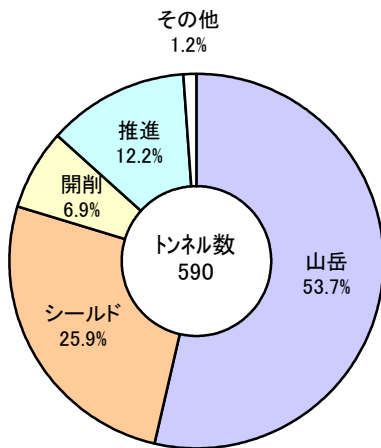


図-14 施工法別比率(トンネル数比較)

※トンネル数とは1工区内にあるトンネルの数をできるだけ抽出した数を示したものである。以下同じ。(工区数<トンネル数)

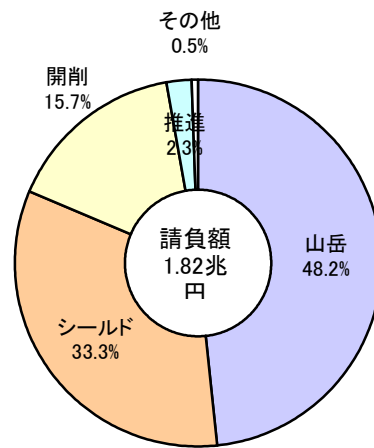


図-15 施工法別比率(請負額比較)

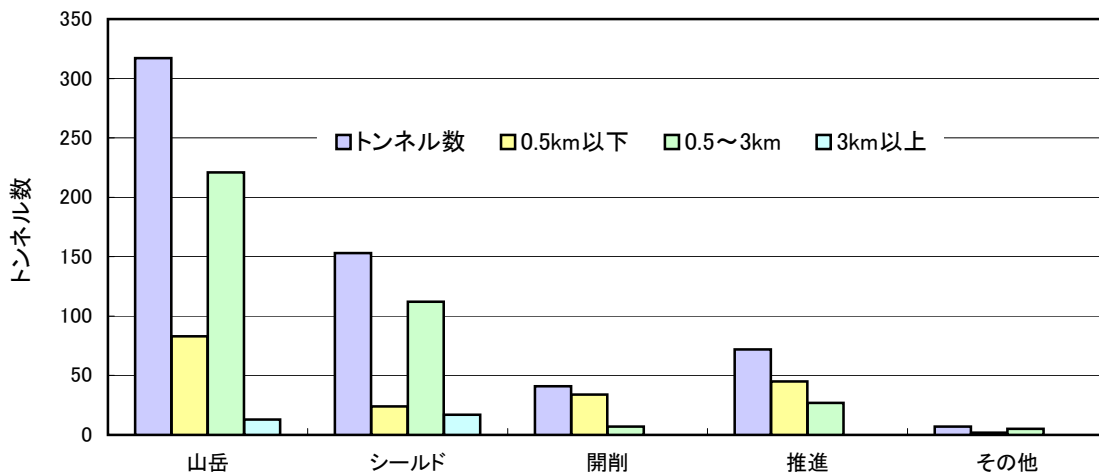


図-16 施工法と契約延長

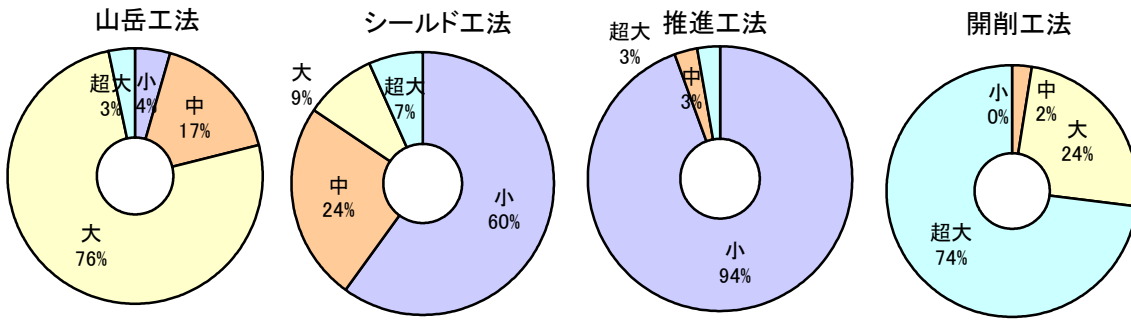


図-17 施工法毎内空断面積比率
 小:10m²未満、中:10m²以上50m²未満、大:50m²以上100m²未満、超大:100m²以上

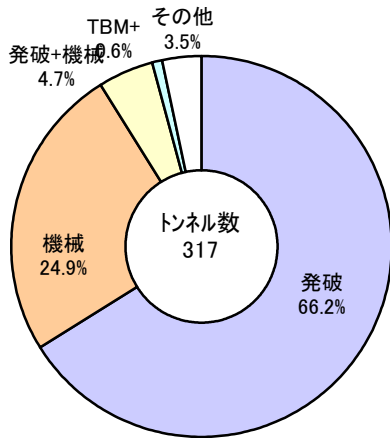


図-18 山岳工法の掘削方式の比率

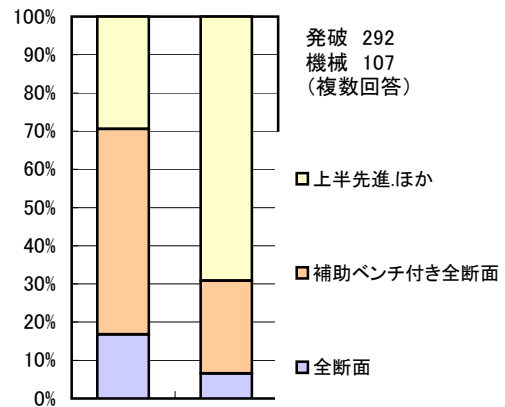


図-19 発破と機械の掘削方式と加背割

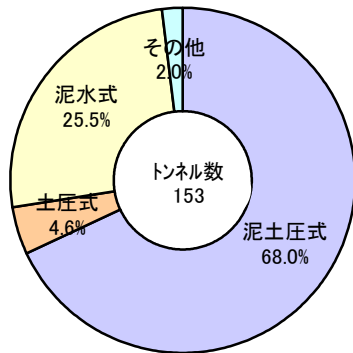


図-207 シールド工法の形式比率

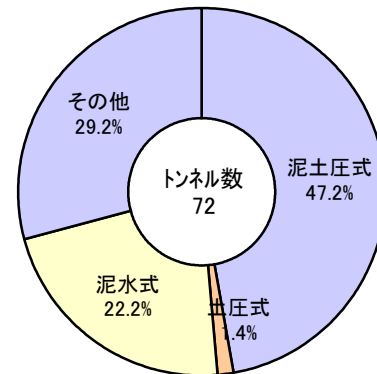


図-21 推進工法の形式比率

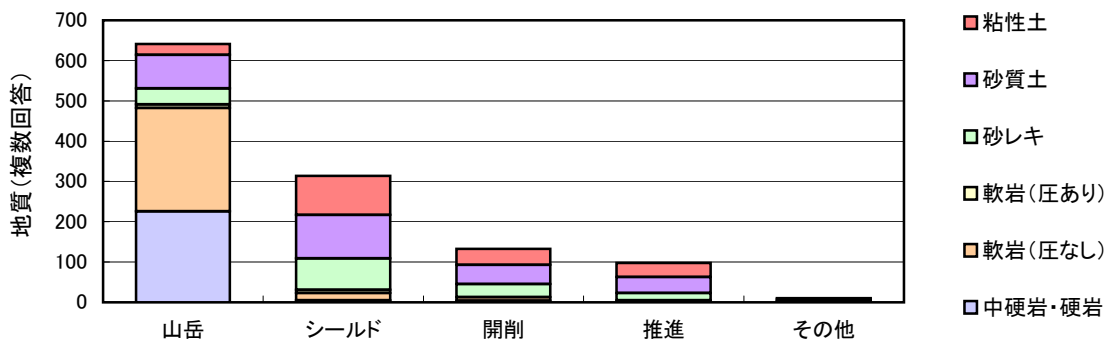


図-22 掘削工法と地質 (重複回答)

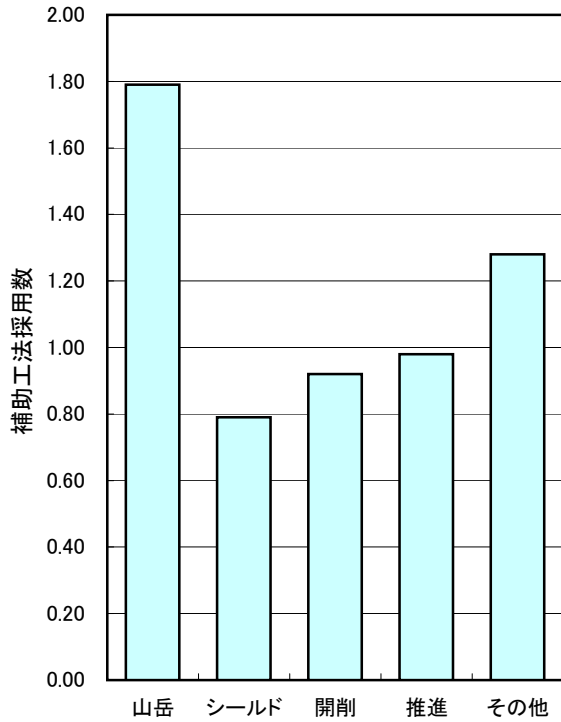


図-23 施工法と補助工法の採用数
(採用数=重複回答の補助工法の数/トンネル数)

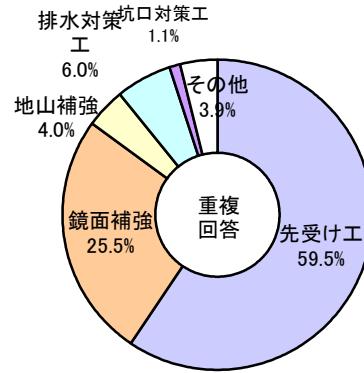


図-24 山岳工法における補助工法

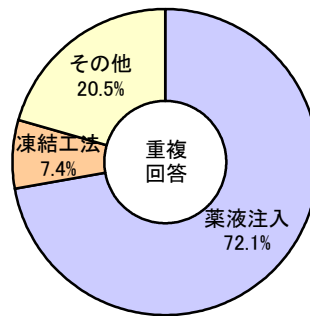


図-25 シールド工法における補助工法

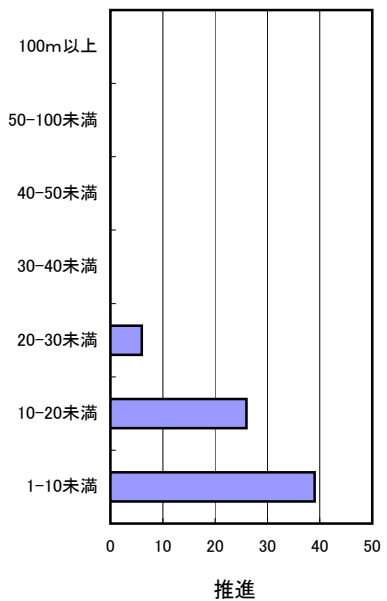
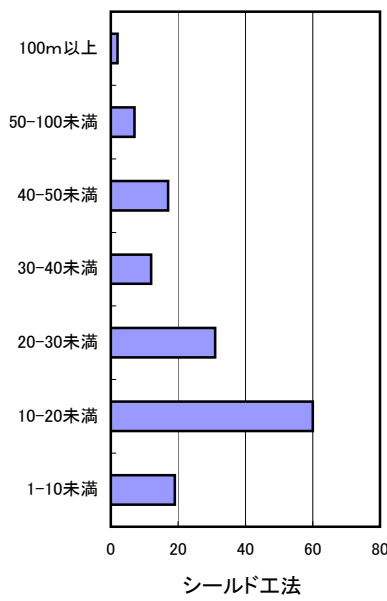
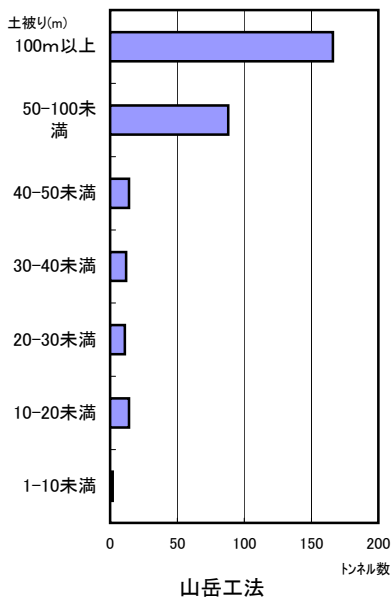


図-26 施工法と土被り